



2024年8月14日

各 位

会社名	フリー株式会社
代表者名	代表取締役 CEO 佐々木 大輔 (コード番号:4478 東証グロース)
問合せ先	常務執行役員CFO 坪井 亜美 (TEL. 03-6683-0242)

個別業績における関係会社株式評価損及び減損損失の計上に関するお知らせ

当社は、2024年6月期第4四半期連結会計期間(2024年4月1日～2024年6月30日)において、下記のとおり、個別業績における関係会社株式評価損及び減損損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 個別業績における関係会社株式評価損

当社の連結子会社で金融サービスを展開するフリーファイナンスラボ株式会社、当社の連結子会社で電子契約サービスを展開するフリーサイン株式会社、及び、当社の連結子会社で書店経営を行う透明書店株式会社は当期純損失を計上しております。その結果、上記3社の純資産価値が低下したことから、当社が保有する同社株式について減損処理を実施し、2024年6月期の個別決算において、関係会社株式評価損951百万円を特別損失として計上いたしました。

なお、上記の特別損失は、連結決算上消去されるため、連結損益への影響はありません。

(注)フリーファイナンスラボ株式会社及びフリーサイン株式会社は2024年7月1日に実施した吸収合併により解散しました。

(注)透明書店株式会社はスモールビジネスのバックオフィス業務のニーズを体感する実店舗として書店経営を行っている会社です。

2. 減損損失

2022年8月12日発表の「中長期経営戦略の公表及びそれに基づく特別損失の計上について」(以下、当該開示)の記載のとおり、2023年6月期を初年度とする中長期経営戦略(以下、当中長期経営戦略)においては、中長期的な成長の為に投資を加速させる時期と考えております。また当該開示「2. 特別損失の計上(3)今後の見通し」にて記載のとおり、2023年6月期以降、固定資産については資産計上したうえで毎四半期減損損失を計上する可能性を想定しておりました。

2022年6月期及び2023年6月期に計上した減損損失同様に、当中長期経営戦略を前提とし、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、固定資産に対して2024年6月期第4四半期連結会計期間において31百万円の減損損失を特別損失として計上いたしました。

以上